

大学番号：公024

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：大学院の設置

注1

認可

愛媛県立医療技術大学大学院 保健医療学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画グループ

職名・氏名 ショカン イシハラ シン
主幹 石原 新

電話番号 089-958-2111

（夜間） 089-958-2111

F A X 089-958-2177

e-mail ishihara-shin@epu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	8
3	施設・設備の整備状況、経費	14
4	既設大学等の状況	15
5	教員組織の状況	16
6	留意事項に対する履行状況等	22
7	その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学

(2) 大学名

愛媛県立医療技術大学大学院

(3) 大学の位置

〒791-2101

愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イデ トシノリ) 井出 利憲 (平成22年4月)	(ハシモト コウジ) 橋本 公二 (平成26年4月)	任期満了に伴う変更(26)
理事	(タカオカ ヒトシ) 高岡 亮 (平成25年4月)	(カドタ キミカズ) 門田 公一 (平成26年4月)	定年退職に伴う変更(26)
理事	(ミヤウチ キヨコ) 宮内 清子 (平成26年4月)		平成22年4月から (2年ごとの任期更新)
理事 (非常勤)	(イナバ リュウイチ) 稲葉 隆一 (平成26年4月)		平成22年4月から (2年ごとの任期更新)
理事 (非常勤)	(ミキ ヨシハル) 三木 吉治 (平成26年4月)		平成22年4月から (2年ごとの任期更新)
学部長	(ミヤウチ キヨコ) 宮内 清子 (平成26年4月)		平成22年4月から (2年ごとの任期更新)
研究科長	(ミヤウチ キヨコ) 宮内 清子 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等 (看護学専攻)

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合 (平成26年度までの3年間) ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称 (学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
保健医療学研究科 看護学専攻 修士 (看護学)	2 年	5 人	10 人	基礎となる学部等 保健科学部 看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平均入 学定員 超 過 率	備 考
	平成26年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5 人 (-) [-]	1 人	1.40倍	
志願者数	9 (9) (-) [-] [-]			
受験者数	9 (9) (-) [-] [-]			
合格者数	7 (7) (-) [-] [-]			
B 入学者数	7 (7) (-) [-] [-]			
入学定員超過率 B/A	1.40			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 7	[-] -	
計	[-]		
	7		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	7人	0人	平成26年度	人	人		0%
合計	7人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等 (医療技術科学専攻)

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合 (平成26年度までの3年間) ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称 (学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
保健医療学研究科 医療技術科学専攻 修士 (医療技術科学)	2 年	3 人	6 人	基礎となる学部等 保健科学部 臨床検査学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	平成26年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	3 人 (-) [-]	1 人	1.00倍	
志願者数	4 (4) (-) [-] [-]			
受験者数	4 (4) (-) [-] [-]			
合格者数	3 (3) (-) [-] [-]			
B 入学者数	3 (3) (-) [-] [-]			
入学定員超過率 B/A	1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 3	[-] -	
計	[-] 3		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	3人	0人	平成26年度	人	人		0%
合計	3人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学研究科 看護学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	保健医療学概論	1前	1			4		1				
	地域保健医療特論	1前	2			2					兼1	
	保健医療チーム特論	1後	1			3	1				兼1	
	組織管理学特論	1前	1								兼1	
	医療倫理学特論	1後	1								兼1	
	生涯教育学特論	1前		2		1	1					
	保健医療統計解析	1後		2				1				
	疾病制御学特論	1前		2		2						
	英文文献購読	未開講 1前		1		4						履修希望者がいなかったため (26.4)
	専門科目	看護管理学特論	1後 未開講		1							兼1
ケア技術開発特論		1後 未開講		1				1			兼1	履修希望者がいなかったため (26.4)
看護研究方法論		1前		2		1	1					
理論と看護実践論		1後		2		2						
育成支援看護学特論Ⅰ		未開講 1前		2		1	2					履修希望者がいなかったため (26.4)
育成支援看護学特論Ⅱ		未開講 1後		2		1	2					履修希望者がいなかったため (26.4)
育成支援看護学特論Ⅲ		未開講 1後		2			1	1			兼1	履修希望者がいなかったため (26.4)
育成支援看護学演習		未開講 1通		2		1	2	1				履修希望者がいなかったため (26.4)
成熟期・慢性看護学特論Ⅰ		1前		2		1	1					
成熟期・慢性看護学特論Ⅱ		1後		2		1	1					
成熟期・慢性看護学特論Ⅲ		1後		2		1	1				兼1	
成熟期・慢性看護学演習		1通		2		1	2					
精神看護学特論Ⅰ		1前 未開講		2		1						
精神看護学特論Ⅱ		1後 未開講		2		1						履修希望者がいなかったため (26.4)
精神看護学演習		1通 未開講		2		1						履修希望者がいなかったため (26.4)
地域看護学特論Ⅰ		1前		2		2	1				兼1	
地域看護学特論Ⅱ		1後		2		2	1					
地域看護学特論Ⅲ		1前		2		1	1				兼1	
地域看護学演習		1通		2		2	1					
看護教育学特論Ⅰ		1前		2		2						
看護教育学特論Ⅱ	1後		2		1		1					
看護教育学演習	1通		2		2		1					
特別研究	1後～2通		8		7	5	2					

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 26	科目 0	科目 32	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<保健医療学研究科 医療技術科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	保健医療学概論	1前	1			4		1				
	地域保健医療特論	1前	2			2					兼1	
	保健医療チーム特論	1後	1			3	1					
	組織管理学特論	1前	1								兼1	
	医療倫理学特論	1後	1								兼1	
	生涯教育学特論	1前		2		1	1					
	保健医療統計解析	1後		2				1				
	疾病制御学特論	1前		2		2						
	英文文献購読	未開講 1前		1		4						履修希望者がいなかったため(26.4)
専門科目	臨床検査技術学特論	1後 未開講 1前		2		3		1				
	医療技術科学研究方法論	未開講 1前		1		1	1					履修希望者がいなかったため(26.4)
	先端医療科学特論	未開講 1前		1		1						履修希望者がいなかったため(26.4)
	医療情報学特論	1後		2							兼1	
	遺伝子生命科学特論	1前		2		1						
	遺伝子生命科学演習	1後		2		1						
	分子細胞生物学特論	1前		2		1						
	分子細胞生物学演習	未開講 1後		2		1						履修希望者がいなかったため(26.4)
	組織病理検査学特論	1前		2		1						
	細胞診検査学特論	1前		2			1					
	組織病理・細胞診検査学演習	1後		2		2	1					
	生体防御学特論	1前		2		1						
	生体防御学演習	未開講 1後		2		1						履修希望者がいなかったため(26.4)
	感染制御学特論	1前		2			1					
	感染制御学演習	1後		2			1					
	生体機能検査学特論	未開講 1前		2		1	1					履修希望者がいなかったため(26.4)
	生体機能検査学演習	未開講 1後		2		1	1					履修希望者がいなかったため(26.4)
	病態情報解析特論	未開講 1前		2		1		1				履修希望者がいなかったため(26.4)
	病態情報解析演習	未開講 1後		2		2		1				履修希望者がいなかったため(26.4)
	環境保健学特論	未開講 1前		2				2				履修希望者がいなかったため(26.4)
	環境保健学演習	未開講 1後		2				2				履修希望者がいなかったため(26.4)
	特別研究	1後～2通		8		8	3	3				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 25	科目 0	科目 31	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積 26,190.58㎡ 期間 22.4.1~27.3.31 借用面積 4,489.79㎡ 期間 25.4.1~27.3.31 貸与者：ともに愛媛県			
	校舎敷地	23,180.37㎡	0㎡	0㎡	23,180.37㎡				
	運動場用地	7,500.00㎡	0㎡	0㎡	7,500.00㎡				
	小 計	30,680.37㎡	0㎡	0㎡	30680.37㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	30,680.37㎡	0㎡	0㎡	30,680.37㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		15,491.23 (15,491.23㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	15,491.23㎡ (15,491.23㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		13室	17室	29室	2室 (補助職員 一人)	1室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		研究科全体		
		保健医療学研究科			23 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	すべて大学全体での 共用分	
	保健医療学研究科	75,114 [4,792] (73,523 [4,748])	1,117 [100] (1,117 [100])	4 [3] (4 [3])	1,468 (1,434)	4,523 (4,523)	399 (399)		
	計	75,114 [4,792] (73,523 [4,748])	1,117 [100] (1,117 [100])	4 [3] (4 [3])	1,468 (1,428)	4,523 (4,523)	399 (399)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		686.00㎡		74	70,000				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		888.50㎡		—					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	①は県内の学生 ②は県外の学生
		教員1人当り研究費等	636千円	673千円	図書購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	10,000千円	2,000千円	2,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		①818千円 ②959千円	536千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			県からの運営費交付金						

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛県立医療技術大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
愛媛県立医療技術大学									
保健科学部									
看護学科	4	75	0	300	学士 (看護学)	1.01	平成16年度	砥部町高尾田 543番地	
臨床検査学科	4	25	0	100	学士 (保健衛生学)	1.00	平成16年度	同上	
愛媛県立医療技術大学 大学院									
保健医療学研究科									
看護学専攻	2	5	—	10	修士 (看護学)	1.40	平成26年度	同上	
医療技術科学専攻	2	3	—	6	修士 (医療技術科学)	1.00	平成26年度	同上	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 （ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「—」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学においては学科単位，大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学研究科 看護学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	中西 純子	平成26年4月	保健医療学概論 理論と看護実践論 成熟期・慢性看護学特論Ⅰ 成熟期・慢性看護学特論Ⅱ 成熟期・慢性看護学特論Ⅲ 成熟期・慢性看護学演習 特別研究						
専	教授	野村 美千江	平成26年4月	保健医療学概論 地域保健医療特論 地域看護学特論Ⅰ 地域看護学特論Ⅱ 地域看護学特論Ⅲ 地域看護学演習 特別研究						
専	教授	野本 百合子	平成26年4月	生涯教育学特論 英文献講読 理論と看護実践論 看護教育学特論Ⅰ 看護教育学特論Ⅱ 看護教育学演習 特別研究						
専	教授	豊田 ゆかり	平成26年4月	保健医療学一ム特論 育成支援看護学特論Ⅰ 育成支援看護学特論Ⅱ 育成支援看護学演習 特別研究						
専	教授	越智 百枝	平成26年4月	看護研究方法論 精神看護学特論Ⅰ 精神看護学特論Ⅱ 精神看護学演習 特別研究						
専	教授	宮内 清子	平成26年4月	地域保健医療特論 保健医療学一ム特論 地域看護学特論Ⅰ 地域看護学特論Ⅱ 地域看護学演習 特別研究						
専	教授	北原 悦子	平成26年4月	看護教育学特論Ⅰ 看護教育学演習 特別研究						
専	准教授	澤田 忠幸	平成26年4月	生涯教育学特論 看護研究方法論 育成支援看護学特論Ⅰ 育成支援看護学特論Ⅱ 育成支援看護学特論Ⅲ 育成支援看護学演習 特別研究						
専	准教授	枝川 千鶴子	平成26年4月	育成支援看護学特論Ⅰ 育成支援看護学特論Ⅱ 育成支援看護学演習 特別研究						
専	准教授	西田 佳世	平成26年4月	成熟期・慢性看護学特論Ⅰ 成熟期・慢性看護学特論Ⅱ 成熟期・慢性看護学演習 特別研究						
専	准教授	田中 美延里	平成26年4月	地域看護学特論Ⅰ 地域看護学特論Ⅱ 地域看護学特論Ⅲ 地域看護学演習 特別研究						
専	准教授	島田 美鈴	平成26年4月	成熟期・慢性看護学特論Ⅲ 成熟期・慢性看護学演習 特別研究						
専	講師	岡田 ルリ子	平成26年4月	ケア技術開発特論 看護教育学特論Ⅱ 看護教育学演習 特別研究						
専	講師	中越 利佳	平成26年4月	育成支援看護学特論Ⅲ 育成支援看護学演習 特別研究						

兼任	教授	松村 恵子	平成26年4月	育成支援看護学特論Ⅲ						
兼任	教授	斉藤 功	平成26年4月	地域保健医療特論						
兼任	教授	上野 恭裕	平成26年4月	組織管理学特論						
兼任	教授	宮坂 道夫	平成26年4月	医療倫理学特論						
兼任	教授	竹崎 久美子	平成26年4月	地域看護学特論Ⅲ						
兼任	教授	宮腰 由紀子	平成26年4月	ケア技術開発特論						
兼任	教授	青山 ヒフミ	平成26年4月	看護管理学特論						
兼任	教授	牧本 清子	平成26年4月	地域看護学特論Ⅰ						
兼任	教授	藤田 佐和	平成26年4月	成熟期・慢性看護学特論Ⅲ						

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成26年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
9	5	14	9	5	14	65	1
(9)	(5)	(14)	[±0]	[±0]	[±0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	該当なし		
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<保健医療学研究科 医療技術科学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専	教授	佐田 榮司	平成26年4月	臨床検査技術学特論 病態情報解析特論 病態情報解析演習 特別研究					
専	教授	則松 良明	平成26年4月	臨床検査技術学特論 組織病理検査学特論 組織病理・細胞診検査学演習 特別研究					
専	教授	升野 博志	平成26年4月	英文献講読 医療技術科学研究方法論 分子細胞生物学特論 分子細胞生物学演習 特別研究					
専	教授	玉内 秀一	平成26年4月	保健医療学概論 臨床検査技術学特論 生体防御学特論 生体防御学演習 特別研究					
専	教授	米持 英俊	平成26年4月	生体機能検査学特論 生体機能検査学演習 特別研究					
専	特任教授	井出 利憲	平成26年4月	英文献講読 先端医療科学特論 遺伝子生命科学特論 遺伝子生命科学演習 特別研究					
専	教授	草薙 康城	平成26年4月	保健医療学概論 疾病制御学特論 組織病理・細胞診検査学演習 特別研究					
専	教授	脇坂 浩之	平成26年4月	保健医療子一ム特論 英文献講読 疾病制御学特論 病態情報解析演習 特別研究					
専	准教授	北尾 孝司	平成26年4月	感染制御学特論 感染制御学演習 特別研究					
専	准教授	大崎 博之	平成26年4月	保健医療子一ム特論 医療技術科学研究方法論 細胞診検査学特論 組織病理・細胞診検査学演習 特別研究					
専	准教授	野島 一雄	平成26年4月	生体機能検査学特論 生体機能検査学演習 特別研究					
専	講師	鳥居 順子	平成26年4月	保健医療学概論 保健医療統計解析 環境保健学特論 環境保健学演習 特別研究					
専	講師	加藤 徳雄	平成26年4月	環境保健学特論 環境保健学演習 特別研究					
専	講師	高田 智世	平成26年4月	臨床検査技術学特論 病態情報解析特論 病態情報解析演習 特別研究					
兼任	教授	立石 憲彦	平成26年4月	医療情報学特論					

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成26年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見個いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前個い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
14		14	14		14	65	1
(14)	()	(14)	[±0]	[]	[±0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	該当なし		
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等（看護学専攻）

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	<p>本大学院保健医療学研究科看護学専攻は、平成25年12月の設置認可後、ただちに大学院に係る入試要項、時間割、関係規定の改正等に取り掛るとともに、施設・設備の改修を開始し、3月15日の入学試験を経て、平成26年4月1日に予定通りの開設に至った。</p> <p>看護学専攻の入学者は7名（定員5名、収容定員10名）であった。</p> <p>今後は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野でのより高度で専門的な学術理論及び実践能力を備え、高度専門職業人としても総合的な判断能力・指導力・教育力等を持った人材を育てていきたい。</p> <p>教育については、1年次開講科目は全て予定通り開講（履修者がいなかったため未開講となった科目を除く）している。</p> <p>また、施設設備等においても、設置計画どおりに運用されている。</p> <p>管理運営においては、平成26年4月1日に、大学院学則及び研究科委員会規程に基づき、研究科長及び授業担当教授を構成員として毎月1回開催し次の事項を審議する「研究科委員会」を立上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院の教育課程の具体的内容及び履修に関すること ・学生の入学、休学等その身分に関すること ・試験・課程の終了及び学位の授与に関すること ・学生の指導及び賞罰に関すること ・その他大学院の教育研究上の重要事項に関すること <p>4月1日の第1回委員会においては委員会組織の役割や運営方法の確認、授業計画の確認等を行い、4月4日に開催の臨時委員会においては、履修見込に基づく授業時間割の確認、研究指導教員の決定方法、教室・演習室の使用等について協議・確認を行った。（26）</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等（医療技術科学専攻）

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時 (平成26年4月)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>本大学院保健医療学研究科医療技術科学専攻は、平成25年12月の設置認可後、ただちに大学院に係る入試要項、時間割、関係規定の改正等に取り掛るとともに、施設・設備の改修を開始し、3月15日の入学試験を経て、平成26年4月1日に予定通りの開設に至った。</p> <p>看護学専攻の入学者は3名（定員3名、収容定員6名）であった。</p> <p>今後は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野でのより高度で専門的な学術理論及び実践能力を備え、高度専門職業人としても総合的な判断能力・指導力・教育力等を持った人材を育てて行きたい。</p> <p>教育については、1年次開講科目は全て予定通り開講（履修者がいなかったため未開講となった科目を除く）している。</p> <p>また、施設設備等においても、設置計画どおりに運用されている。</p> <p>管理運営においては、平成26年4月1日に、大学院学則及び研究科委員会規程に基づき、研究科長及び授業担当教授を構成員として毎月1回開催し次の事項を審議する「研究科委員会」を立上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院の教育課程の具体的内容及び履修に関すること ・学生の入学、休学等その身分に関すること ・試験・課程の終了及び学位の授与に関すること ・学生の指導及び賞罰に関すること ・その他大学院の教育研究上の重要事項に関すること <p>4月1日の第1回委員会においては委員会組織の役割や運営方法の確認、授業計画の確認等を行い、4月4日に開催の臨時委員会においては、履修見込に基づく授業時間割の確認、研究指導教員の決定方法、教室・演習室の使用等について協議・確認を行った。（26）</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<保健医療学研究科 看護学専攻・医療技術科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成26年4月15日（水）開催 委員7名全員参加</p> <p>c 委員会の審議事項等 平成26年度FD委員会活動計画 平成26年度FD委員の役割 研究倫理に関する特別企画の内容について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容（実施予定） FD活動に関する新任教員への研修会 研究倫理に関する特別講演の開催 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）派遣学外講師による研修会の開催 科研費獲得のための研修会 人権啓発・ハラスメント防止研修会の開催</p> <p>b 実施方法 学内外の講師による研修</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 上記研修会等を、教職員の参加が可能な日時で年間計画を立て、開催の予定（5月～12月）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 参加教員の意見・感想・授業への反映状況等をFD委員会で取りまとめ、改善方策を検討</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 学部学生へのアンケートは毎年度実施し、現在25年度分を取りまとめ中である。 大学院については、FD委員会において、新たな評価方法を検討することとしている。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 学部でのアンケート集計結果は、教員に配布している。大学院においても、教員及び学生への公開・周知方法等について検討する。</p>
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本保健医療学研究科は、地域の保健医療機関に就業している専門職（看護職・臨床検査技師）を、卓越した実践能力と総合的な調整能力を持った高度専門職業人に育成すること、より高度な教育力・研究力を修得し保健医療職の教育機関や実践の場において教育的な役割を発揮できる人材を育成すること、公立大学として県民の期待に応え得る質の高い教育及び研究水準を維持するとともに保健医療に係る新たな課題に対応できる大学として発展すること、地域における保健医療活動を支える教育・研究拠点としての機能強化を図ることを目的開始しており、本研究科設置の目的実現に向けて、順調に歩を進めていると判断される。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年9月下旬 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成27年9月下旬を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に認定評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(H26年6月2日)